

会議録：「第4回恵那市産業振興ビジョン戦略策定部会」

日時：令和4年2月18日（金曜日） 18：30～19：40

場所：オンライン開催

参加者：別紙参照

【検討部会】商業・観光・工業など市内の企業や団体の代表委員17名（内、8名欠席）、恵那市担当課職員6名 計23名

1. 開会

○商工課 第3回会議で委員の皆さんにご確認いただいた「政策の方向性」について、親会議である産業振興会議で承認が得られ、「第2次産業振興ビジョン案」を策定したため、その内容についてご報告させていただくと共に、来年度より新たに取り組む事業について説明をさせていただきます。

2. 第2次産業振興ビジョン案と新たに取り組む事業について

○商工課 事前郵送資料「第2次恵那市産業振興ビジョン案及び新たに取り組む事業について」により説明

ポイント

1. 恵那市の特徴・強みの再整理
2. 第2次産業振興ビジョンでは6つの戦略に18の施策で事業を展開
3. 重視する視点は①カーボンニュートラルの実現②周遊性の向上③産業人材の育成
4. R4年度はそれぞれの戦略・施策に基づき新たに21の事業に取り掛かる
5. 計画期間はR7年度まで。毎年度、事業評価を実施し、より効果的な事業となるよう見直しを実施する。
6. ビジョンの進行管理はもう一つの部会である産業振興ビジョン戦略実施部会（市役所、商工会議所、商工会、観光協会）で実施

3. 意見交換

○商工課 ビジョン案や新たに取り組む事業についての質問や意見、またはこれまでの会議全体を通して感じたこと等があればご発言をお願いしたい。

■委員意見 本年度も市が実施する事業について協力依頼を受けお手伝いをしてきたが、市内部や関係機関を含めた連携・情報共有が取れていないと感じる。ビジョンにより方針が明確になったため、これを基に連携が進めば良い。

■委員意見 ビジネスマッチングはタイミングがある。そのため普段から地域の同業種が集まり意見交換が出来る場があれば良い。新たな事業が生まれる可能性もある。

■委員意見 日本ガイシ、中部電力、市が出資をした地域電力会社である恵那電力のような、電気小売、発電を行う事業所の集積を行うことも面白い。地域資源を活用することで競争力はある。また、今年、青年会議所、会議所青年部、商工会青年部で集まる機会がある。情報交換ができるため非常に楽しみ。

■委員意見 P8に台湾人観光客の受入事業とあるがなぜ台湾なのか？理由があれば知りたい。

■事務局 インバウンド獲得は台湾人に限らず事業を行っていく。その中でも台湾はここ2年間力を入れており、職員の派遣も行っている。協力、推進体制が整ってきているため受入環境についても整備を行う。

■委員意見 大井ダム100周年事業があるが、どのように情報発信をしてPRをするかが重要。新丸山ダムでもいろいろなイベントを実施している。連携し情報発信するのも一つの方法だと思う。

■委員意見 コロナ終息には時間が掛かる。これからの観光は家族等の個の単位が主流になってくると思う。またリニア開通を活かした観光振興に向けての環境整備はすぐには出来ないため、開通を見こして今から考えていく必要があるのと、合わせて多治見や土岐等の近隣住民をターゲットとしたマイクロツーリズムの取り組みも必要だと思う。

商業分野では町に人が来ないと運営は厳しい。観光を軸に町を活性化する必要がある。

■委員意見 観光分野は加納委員と同様にどう発信するか、広報するかが課題、ポイントとなる。また、ビジョンの内容を一般の市民は知らない。周知を図るためにもA4サイズくらいの概要版を作成し周知を図った方が良いのではないか。

■委員意見 観光やまちづくりの比較的ライトな活動を行っている市民の方々にも本ビジョンが伝わると良い。

■荒川ファシリテーターコメント ビジョンでは世の中の潮流である、SDGsやカーボンニュートラル、DXも抑えてありまとまっている。ただし6つの戦略と18の施策があり、事業は広範囲に及ぶ。そのため選択と集中の観点を持つことと、やり方次第では1つの事業で2つの目的が達成できることもある効率的に事業を行う必要がある。

■蟹江ファシリテーターコメント ビジョン内容は多岐に渡っている。また事業も沢山ある。市民全体に波及するよう行政がリーダーシップを取り市民を巻き込み目的を達成するため事業を進めて欲しい。

4. 閉会

○商工課 1年間に渡りビジョン策定にあたりご協力をいただき感謝します。当部はこれにて解散となるが、事業実施の中で委員の皆さんにご協力やご意見をお聞きすることがあると思う。引き続きよろしくお願ひしたい。

ご協力ありがとうございました。